拓水

2月号
No. 269

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
〒652
神戸市兵庫区中ノ島2の2の1
発行人　兵庫県漁業協同組合連合会
会長理事　山田岸松
TEL　681－6954～7
一部　10円

漁船保険40周年

兵庫県内海漁船保険組合
但馬漁船保険組合

式辞をのべる神頭組合長

2.5 式典盛大に挙行

兵庫県内海漁船保険組合

二月五日、オリエンタルホテルに於いて、坂井兵庫県知事ご臨席のもとに業界関係者一七五名が参加し、盛大に記念式典が挙行され、その席上、県知事、中央会長、保険組合長の感謝状授与が行なわれた。又、水産庁長官、県知事、中央会長、山田県漁連会長より祝辞、各関係方面より祝電が披露された。続いて受賞者六十六名の代表として高浜光次氏が謝辞をのべた。

尚、引き続き行なわれた祝賀会では、三浦前組合長の乾杯にはじまり、なごやかな中に宴はすすみ、西上信漁連会長のバンザイ三唱にて厳粛裡に終了した。今後保険組合は、若甚のように雄々しく羽ばたくであろう。

（式　辞）

本日ここに兵庫県内海漁船保険組合設立四十周年を迎え、水産庁長官、県より坂井知事殿を始め関係の皆様、漁船保険中央会和田副会長のご臨席を賜わり又、当ブロックの各漁船保険組合長、県内では、漁連会長、各団体関係者多数のご出席のもとに、盛大な記念式典が挙行されますことは誠に喜びに堪えない次第であります。顧みますれば、昭和十二年六月漁船保険法が制定され、本県瀬戸内海域で漁船保険組合が創設されましたのは、翌年の八月十二日兵庫県生魚運搬船漁船保険組合につづいて淡路、播磨の両組合が誕生し、草創期には可成の業績をおさめておりましたが、世情は混乱、灰色の時代に遭遇し時勢の推移に対応しながらこの危機を乗り越える為、昭和十九年十月三組合を併合、新に兵庫県内海漁船保険組合が設立され発足しました。

その間、支那事変、大東亜戦争等で中堅漁船の多数を失い之がため加入漁船の減少を来して保険組合の収支は均衡を欠き、一大危機を招来する等、幾多の苦難に遭遇しましたが、たまたま昭和二七年漁船損害補償法が制定され、義務加入制度が誕生、義務加入制度の新設と共に保険料の一部国庫負担が得られるようになりました。当組合では県費加入奨励補助金の交付並びに市町助成措置等について、関係当局にご依頼申し上げ漁民負担保険料の軽減を図り、この好機をとらえ、傘下六十二漁協組所属漁船の全船義務加入実施を目標に、スローガンを掲げて事業の推進に努め、昭和四十六年、遂に宿願を達成することが出来ました。爾来、保険内容の充実と基盤強化の為、保険料の掛け捨てにならない、満期保険の普及と付保率引上げに精進して参りました。更に関係当局のご指導と先輩役職員の並々ならぬご努力、又組合員各位の深い理解とご協力により迂余曲折の中にも、年と共に発展しつつ今日の様な確固たる漁船保険組合が出来あがったのであります。然しながら、最近の漁場環境は一段と厳しいものがあり、殊に沿岸漁業においても水質汚濁や漁族の減少等漁業危機が強く訴えられ、保険行政に及ぼす影響等も憂慮されるところでありますが、現在試験実施中の漁船積荷保険、船主責任保険、乗組船主保険が、現行船体保険と共に益々の充実を図り更に本日の式典を契機として、当組合では付保率のアップによりご理解あるご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

（神頭宇市組合長）

但馬漁船保険組合は、本年で創立40有余年の春秋を閲し、顧みて越し方幾山河の状況を何等かの形で記録にとどめおくことは極めて意義のあることと考え、「但馬漁船保険組合40年略史」を刊行いたしました。

本誌は、30周年の記念刊行誌「創立30年の歩み」との重複をできるだけ避けるため、その後の10年間の事項に重点を置きかつ、創立前後の事にくわしい作花英治氏（前副組合長）に貴重な手記を寄せて頂きました。

40年略史を刊行

但馬漁船保険組合

（発行にあたり）

昭和一二年六月漁船保険法が制定され、但馬海区漁業界の先輩各位と共に、設立発起人となって昭和一三年一月一八日但馬漁船保険組合として、認可発足を見てから本年で四〇周年の意義ある年を迎えることができました。

危険分散を図ることによって業績は急速に上昇して、準備金の積立額も年と共に増加して一億五千万円となり基盤強化により漁業経営の安定に大きく貢献することが出来るに至ったことは、組合員各位と共に深く慶びとする所であります。

然し乍ら最近漁業をとり巻く環境は二〇〇海里問題、資源の減少等誠にきびしいものがあり漁業経営の安定のため、保険共済等の制度が今程重要の時は無いと考えられますので、今後役職員一体となって、之等の難関を乗り切り、保険本来の目的が達成されるよう一層精進を続ける覚悟であります。どうか、今後共引続き御協力賜わりますことを御願い申上げます。

（西上重弐組合長）

沿革年表

昭.12. 3	漁船保険法（法律23号）、漁船再保険特別会計法（法律24号）公布
~~12. 6~~	~~漁船保険法施行~~
12.12	但馬漁船保険組合創立総会
13. 1	但馬漁船保険組合設立認可、事務所を竹野村に置く、初代組合長小高熊造就任
17. 4	戦争保険を実施
17. 5	二代組合長に永田博就任、事務所を口佐津村に移転
22. 8	三代組合長に西上重弐就任、事務所を香住町に移転
24. 3	社団法人漁船保険協会設立
27. 3	漁船損害補償法（法律28号）公布、漁船保険法廃止
27. 6	漁船乗組員給与保険法公布、但馬漁船保険組合新制度に組織変更し認可
27.10	漁船保険協会解散、漁船保険中央会創立総会
28. 9	満期保険実施
32. 1	但馬漁船保険組合農林大臣表彰を受ける
32. 4	衝突損害賠償てん補実施
38.11	兵庫県但馬漁業センター竣工式、但馬漁船保険組合同所に移転
42.11	但馬漁船保険組合創立30年記念式典挙行
48. 7	漁船積荷保険臨時措置法公布
51. 6	漁船船主責任保険臨時措置法公布
51.10	漁船船主責任保険、漁船乗組船主保険試験実施開始
53. 7	海外操業漁船損害補償事業実施

すなどり

わが国漁業は、低成長、経済の影響下、二〇〇海里時代の潮流の中で、生産の場としての漁場の制限を余儀なくされ、生産コストの増大と魚値低迷による経営不振をはじめ多くの重要課題に当面し、これ等を解決して新海洋法時代に対応する漁業の再編成を早急に推進する必要に迫られております。従来、漁獲努力のみを指向してきた漁場利用から資源を管理しながら合理的な秩序のもとに利用していく時代がやってきたと謂うべきで、その実現には、漁業法等諸制度の見直しも当然必要であるが、基本的には漁民・漁協組織による対応が根幹となるべきであると謂える。

今日まで漁協系統は、激しい環境の変化と多くの厳しい事態に遭遇しながらも、常に組合員のニーズと期待に応えて、沿岸漁業の振興、漁業経営ならびに漁業者の福祉の向上に努める一方、漁協系統組織の力を結集して活発な協同運動を展開し、漁協系統の基盤の強化、整備を推進し、組合員の生産・経営活動・生活の向上等に寄与してきた意義は大きいものがある。しかし、これまでの漁協系統組織の運動、事業展開は、経済社会や漁業のめまぐるしい変化への対応に、あまりにも汲々としてきたことも否めないところであろう。

我々漁協系統としては、激動する今日の環境変化に対処して将来の発展を期するためには、漁協本来の理念と本質に基き組合員の主体的、意欲的な協同運動の盛り上りによる結束を系統組織に集中して、その力を発揮していくという認識が必要である。

さて、漁協系統の事業活動は単に、事業量の拡大のみが目的ではなく、組合員が意欲をもって協同活動に取り組む組織的な運動が基本で、事業運営の質的な向上をどのように図って行くかということであり、その協同活動の成果が事業や経営に反映し、結実するものである。しかし、漁協系統が、組合員の新らしいニーズに応えられないと、組合員の漁協系統に対する利用度が低迷し、その基盤が弱体化する、そして益々組合員のニーズに応えられなくなるという悪循環を招くこととなる。この悪循環を断ち切るには、漁協系統の基盤の強化充実を図ることも、勿論必要ではあるが、何よりも先づ大切なことは我々の漁協系統は我々の力で、という意識であり、自主的な参加意識である。

最近、漁協系統等による研修会で、協同意識の普及、向上に関わるテーマが多くなった、その中で、「近年、農漁協になった、組合員はお客、役職員は店主、店員視する風潮が見受けられる、こうした意識から脱脚して組合員による組合員のための組合員の農漁協という意識に徹する必要がある」とよく聞かされる。漁協系統における事業活動、組織活動等すべて組合員が主体であり、主役でなければならない。自主・自立」を前提とした協同運動の原点に立ちかえる必要を痛感する。

全漁連及川会長の年頭所感のなかに、「厳しい新時代に即応するには（中略）緊要なる諸施策は勿論大切ではあるが、あらためて漁協系統の事業全体を見直し、漁協系統の体制固めを図ることに最大限の努力を傾注しなければならない。（中略）今日の日本漁業が置かれた困難な状況を打開して行くため、協同運動に支えられた我々組織の機能が最大限に発揮されることが不可欠であり、事態はまさに漁業者一人一人に根本的な自覚を要請しているものと受けとめるべきである」と強調されている。我々漁協系統としては、水協法施行三〇周年にあたり、これまでの漁協系統活動、系統運動を顧みて、その成果に対する正しい評価と反省を行い、現状の認識を充分にして、新時代展望のもとに、その帰結は「協同運動に支えられた我々漁協系統組織の機能＝協同運動の力」であることを、茲にあらためて確認して県下漁協系統の皆さんと共に前進を続けたいと決意を新たにするものである。

水協法30周年におもう

兵庫県漁連
専務理事　塩谷　健次郎

福良漁協「養殖漁業―基成事業」に取り組む

このほど、福良漁業協同組合（酒部竜三組合長）では福良湾の東側中間、通称蛇ノヒレの北側にある又の浦湾（位置は別図）を組合単独で埋立し、総合的な養殖漁業基地の建設を進めようとしている。計画されている埋立地の概要は下記のとおりでこの埋立に要する費用だけでも一億七千万円をかける。

福良漁協は水揚げでも淡路随一をほこりまた、ハマチ、ワカメ等の養殖も盛んである。

酒部組合長は「これらの漁業生産に対処するためには、現在何といっても土地がない。とくに加工や冷蔵施設用地の確保は組合にとって急務である。それには埋立てによって基地をつくっていくより仕方がない。幸い組合員も意欲的でこのたびの埋立に踏み切れた」と語っておられる。

埋立が順調に進んで一日も早く施設の充実をはかれ、福良漁協のますますの発展を祈りたい。

位置図

＜埋立地の概要＞

1.	埋立面積	9552.3㎡
2.	埋立地の用途	
	のり人工種苗用地	330㎡
	加工場用地	400㎡
	餌虫人工養殖用地	760㎡
	水産物干場用地	1,400㎡
	冷凍施設用地	710㎡
	漁具倉庫用地	1,740㎡
	事務所用地	410㎡
	駐車場用地	630㎡
	道路用地他	3,172.3㎡

貯蓄情報 ②

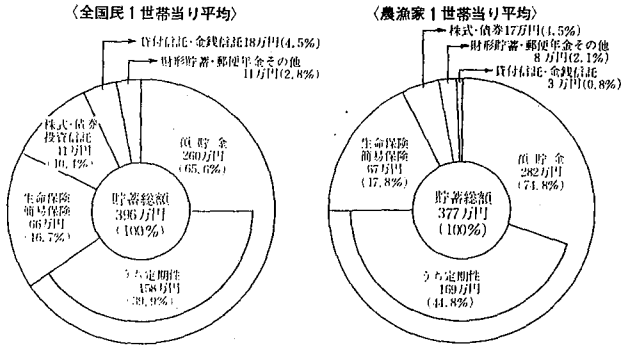
兵庫県信漁連

※前年に比べ、預貯金の割合は高くなった（六四・四％→六五・六％）が、その内の定期性貯金の割合は逆に低下している（四一・〇％→三九・九％）。これは長期運用志向の貯蓄は相対的に有利な債券へシフトすると同時に、他方、有利な運用先を求める間、とりあえず流動性預金に置いておこうとする動きなども反映したものとみられる。

農漁家一世帯当り平均をみると、預貯金他金体的に低下傾向にある。

貯蓄種類別に保有状況をみると、預貯金（九九・二％）、生命保険・簡易保険（七五・〇％）は非常に高い値を示しているのに対して、貸付・金銭信託、各種の有価証券等は一〇％時後とまだ少ない。

種類別貯蓄保有状況



貯金の預入先

＜全国平均＞

順位	預入先	率
1	銀行	72.2%
2	郵便局	59.5
3	信用金庫	24.5
4	農漁業協同組合	20.9
5	勤務先	16.8
6	相互銀行	16.4
7	信用組合	5.3

＜農漁家平均＞

順位	預入先	率
1	農漁業協同組合	75.6%
2	郵便局	57.4
3	銀行	48.1
4	信用金庫	13.0
5	信用組合	6.8
6	勤務先	6.0
7	相互銀行	4.7

全漁協組合員の福祉にノリコーに加入しよう

全水共

ノリコー（乗組員厚生共済）改善される

。共済最高限度額が二、〇〇〇万円に

※10トン未満漁船漁業の方へ

例へば、陸上海上を問わず災害により死亡した場合、二〇〇万円の保障が四〇〇〇万円に。事故入院限度額が五、〇〇〇円に引き上げられました。

。掛金も割安に

※沖合底曳網、沖合イカ釣り漁業の方へ

従来、漁船乗組員の船員保険の上積保障として一年間の掛金が八、七〇〇円、漁業協同組合ノリコー四〇〇万円PI保険四〇〇万円、グループ保険三〇〇万円、合計一、一〇〇万円加入しています。

病気で死亡した場合一万円に、災害入院で四、〇〇〇円保障すると一年間の掛金が八、〇〇〇円、漁業協同組合員の過半数が加入します。

ノリコーは船員保険を適用できない十トン未満漁船漁業の船主及び雇い入れ乗組員の身体を保障する、割安の掛捨て共済であり、PI保険と併に加入すると幅広い保障が受けられます。

※漁協・系統団体の役職員の皆様へ

陸上勤務者用のノリコーとして、災害死亡、災害入院、病気死亡を保障し陸上のみ担保することで掛金が割安であったのが事故率が非常に高く掛金の引上げが予想されましたが、農林年金加入者のみ掛金額をすえおきました。

例えば災害死亡二〇〇万円病気死亡一〇〇万円災害入院二、〇〇〇円／日で一年間の掛金、四、八〇〇円です。

労働災害保険の上積として加入されてはいかがでしょうか。

と10％割引となり、七、八三〇円となります。

ノリコーは船員保険を適用できない十トン未満漁船漁業の船主及び雇い入れ乗組員の身体を保障する、割安の掛捨て共済であり、PI保険と併に加入すると幅広い保障が受けられます。

※沖合底曳網、沖合イカ釣り漁業の方へ

従来、漁船乗組員の船員保険の上積保障としてノリコー四〇〇万円PI保険四〇〇万円、グループ保険三〇〇万円、合計一、一〇〇万円加入しています。

病気で死亡した場合一万円に、災害入院で四、〇〇〇円保障すると一年間の掛金が八、七〇〇円、漁業協同組合員の過半数が加入します。

改定ノリコー掛金表

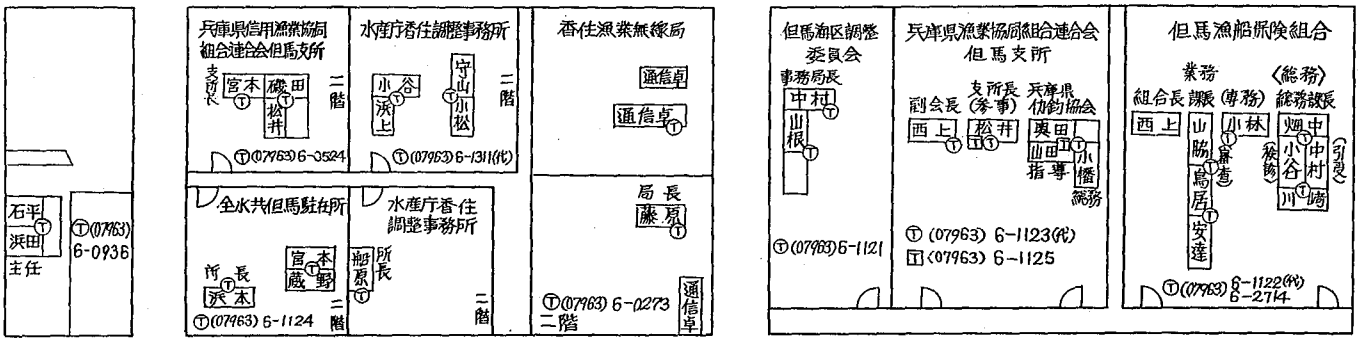
	災害死亡障害 100万円当り	災害入院 1,000円／日	病気死亡 100万円当り	気亡 万円当り
Ⅰ型傷害共済契約（10t未満漁船漁業者）	円 2,100	円 500	円 2,500	
Ⅲ型漁業労働災害共済契約（沖合イカ釣り、沖合底曳漁業者）	円 4,900	円 540		
Ⅴ型陸上勤務者（農林年金加入者）	円 1,400	円 500	円 1,000	円
Ⅵ型陸上勤務者（農林年金に加入していない者）	円 1,700	円 500	円 2,500	

※Ⅰ型ノリコー（10t未満漁船漁業）は海上、陸上問わず保障いたします。漁協組合員の半分以上加入の場合10％の掛金割引があります。（参考）漁船PI保険は漁船上の災害死亡、障害のみ保障掛金100万円で1,500円

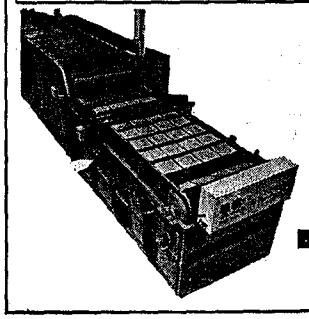
※Ⅲ型ノリコー（漁業労働災害共済契約）は船員保険に準じて支払います。

漁船・水産施設は
リースで！
兵庫県水産課・県漁連

資材販売所　（２F）　但馬漁業センター　（１F）

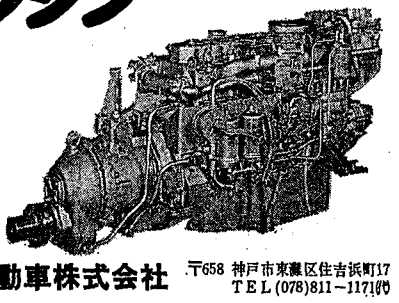


省力化の決定版 !!



全自動乾海苔製造装置
ニチモウ ワンマン
ニチモウ株式会社
■大阪営業所
大阪市北区中之島2-22（新朝日ビル）
TEL 06（202）5341

いすゞ マリンエンジン
高速への挑戦！
UM06BBIB



特長
1.小型、軽量、高出力
2.卓越した耐久性、信頼性

神戸いすゞ自動車株式会社
〒658 神戸市東灘区住吉浜町17
TEL(078)811-1171(代)

私達の漁港 ⑥

（江井島港）（地方港湾）

開港は一二〇〇年前

江井島港は奈良時代の名僧「行基」によって開かれたという極めて古い港で、開港は天正一六年、今からざっと一二〇〇年以上もさかのぼる。かっては魚住泊ともいわれ摂播五泊の一つであった。

史実によると、この長い間冬期の西風による荒波で何度も港が破かいされたがその都度、当時の高僧が力を入れて改修が続けられてきたとされている。

江井島港というとなにか漁港という印象を強くうけるが、実は一般地方港湾である。しかし地域を支える産業として近辺の酒造、瓦造とならんで漁業も栄え、漁業基地としても発達してきた良港である。

昔は海上運送の基地としても機帆船と漁船が同居し、ひしめきあった時代もあったが、近年の陸上交通の発達により機帆船の数はぐんと減ったが、漁船は増える一方で、現在はむしろ漁港としての色あいが濃くなっている。

地方港湾となっている江井島港

風光明媚、前面に好漁場が展開

当地区は淡路島を眼前に、西に小豆島、男鹿島などの島影をみる明石市の中間に位置する漁村である。

明石市の海岸線は東西一四キロメートルあり漁協も七つを数えるが、江井島は東の明石浦、林崎、西の二見の漁業基地にはさまれた本県東播地区の漁業メッカの真ん中に存在する。主たる漁場は沿岸周辺と播磨灘である。組合員一三九名（うち準組合員四四名）、漁家数二三四戸、漁船数二六一隻を有し、主として小型底曳網、曳縄、延縄、一本釣、たこつぼ、のり、わかめ養殖を営んでいる。明石ダコはとくに有名で大きなマダコが足を一杯に開いて強い目ざしに干されている姿は、この地特有ののどかな風景である。

漁船漁業の漁獲量約九〇トン、養殖のりは約三千万枚、あわせて総水揚高約六億五千万円をあげている。漁業従事者二七七人、漁家数二三五戸であるが、家計のうち漁業所得を主とする漁家は約半分である。これは都会地が近いため手弟にはサラリーマンが多いせいだろうか。

漁業としては最近のり養殖が急速にのびており、明石の他地区と同様、全国的にも香りたかい良質ののりを生産している。

漁船漁業では、主として カレイ、スズキ、アイナメ、サワラ、ハマチ、ベラ、アナゴ、タコ等を漁獲し、内海の新鮮な魚種も豊富である。

坊勢漁港（二種家島町管理）

「坊勢」その名のゆかり

播磨灘の西方に大小とりどりの島々が点在する。それが家島群島である。坊勢島はこの家島本島の南に位置し、風光明媚の極めて美しい島である。島には急な坂道に沿ってぎっしり家が立ち並んでおり、その間を縫って細い道が上下左右し、初めての人が訪れると大概道に迷ってしまう。まことに独特の町並である。

「ふるさと兵庫」のなかの一文を借りると「昔、比叡山の覚圓僧都が元慶七年（八八三）にこの島に流れてきた。覚圓は高島姓であったので、現在ではその子孫が家島本島に移り住んでいるので坊勢島には少ないが家島本島には高島姓を名のる人が多い。当時寺を建て多くの僧兵を養ったので「坊勢」の名が生れたと伝えられている。」と記されている。

その名前のゆかりが興味深い。

坊勢は漁業で生きている島といっても過言ではなく、弁天浜附近には大小の漁船がぎっしりと並んでいる。

漁業は底曳が主体

漁業の種類は漁船漁業を始め、ハマチやノリ養殖も盛んで入りくんだ海岸線に地のりを得てその種類も多い。

坊勢は本土播磨の姫路港沖合約一八キロメートルの家島町、家島群島に属する離島であり、漁家総数三七八戸、組合員四一五名（うち準組合員二二名）の純漁村地帯で漁船数四六四隻、主要漁業は小型底曳網を中心に刺網、三角網、一本釣、中着網、ハマチ養殖及びのり養殖が営まれており、その漁場は播磨灘南部全域に及ぶ広域な海面で操業している。

漁業者の意欲はさかん

このうち小型底曳網漁業が断然他漁業に比べ群を抜いており、水揚金額も全体の約八五％を占めている。

文字通り「底曳の漁村」といえる。従って魚種も豊富でエビ、シャコ、カレイ、シタ、アナゴ、スズキ、ナゴヤ、イカ、タコ、メバル、ナマコ等となっている。中でもエビ類、シャコ、イカ、タコ類がその上位を占めている。

家島地区はハマチ養殖のメッカ

この家島地区は本県ハマチ養殖場のメッカであり、五二年度家島全島で約二〇〇万尾、うち坊勢には一〇経営体あって約一四〇万尾の養殖を行っている。しかし近年毎年のように発生する赤潮で多くのハマチを斃死させており、経営の安定をはかることに日夜業者は大きく苦慮している。思いおこせば昭和四七年の赤潮大発生による被害は、まことに悲惨という外はなかった。瀬戸内海はもはや死の海と化したかに思えたものだ。家島全島でも養殖ハマチ約二〇〇万尾が斃死、金額にして約一七億円の損害といわれた。その後はこのような大規模なものはないが、年々赤潮はあとを断たず、今後のハマチ養殖に文字通り「赤信号」がともされているのが現状である。

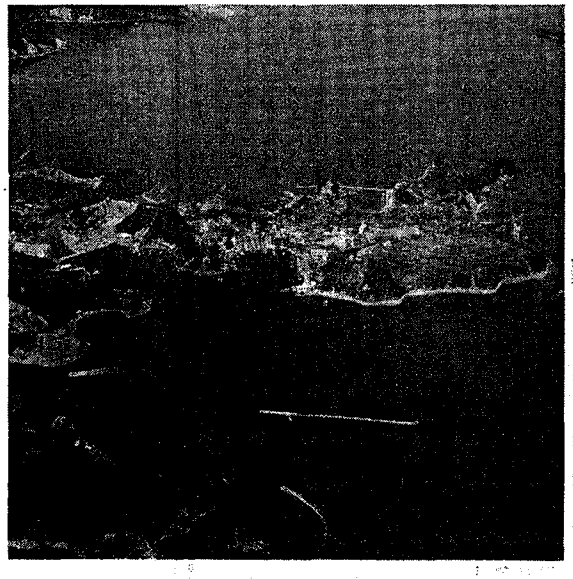
しかし本地区の漁業者は不屈の精神をもってこれらの苦境をのりこえ、毎年新たな意気込みで生産にはげんでいるのである。

昭和五二年度の漁獲高は漁船漁業で四、五三一トン、一六億九千六百万円、ノリ養殖生産量は約一千万枚、金額で一億三千四百万円、巻水揚高一八億三千万円である。

漁家数の内訳は専業が三四五戸（九一％）と圧倒的に多く、ついで第一種兼業二〇戸、二種兼業が一三戸、計三七八戸と漁業への依存度が大半を占める。

これらの数字は他地区と異って漁業以外に頼るものがないという坊勢の姿をよく現わしている。それだけ漁業に対する意欲も高く、「坊勢の漁師は活発だ」といわれる所以でもある。

あれは何時の頃だったか坊勢で漁船機関士の免状取得の講習会が開かれたことがあったが、その時の受講者は女性も含めて二〇名が海運局の実施する国家試験に全員合格したことがあった。当時各地でこのような講習会が開かれていたが、地域で「全員合格」というのはこの地区だけであったように記憶している。これは勉強家も多いことを示しており、それがそのまま積極的な生産力につながっているといえよう。◆



海岸線が複雑な坊勢島

水不足が島民の悩み

家島地区で最も困る問題は水資源であろう。離島というハンデの上に貯水源に乏しく、現在もなお対岸の赤穂から生活用水を購入している。水は生活だけでなく、ノリ養殖等にも欠かせないもので、水不足は漁民香島民全体の悩みである。何とか解決策はないものだろうか。

ともあれ、桂一心組合長は「色々と漁業施設をつくっていきたいが土地が限られており、これからの課題はなんといっても埋立等による土地造りが第一であろう。」と。

新しい年を迎えて坊勢の漁業が益々発展されんことを祈りたい。☆

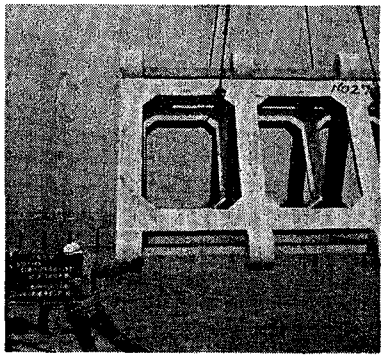
地先に「稚魚育成漁場」を造成、本県で三番目

昭和五一年度、県の事業として地先に約九万㎡の稚魚育成漁場（沿岸漁場整備開発事業の一つとして国と県が全額負担、沿岸部に投石等を行って稚魚の成育場とするもの）が造成されたが、これは従来と違って超大型のコンクリート礁（写真）三〇個を投入、型破りの稚魚育成漁場として各界の注目を浴びた。この魚礁一個の大きさ底面積で三五㎡、重量一三トン、一個の値段が約七〇万円というから相当な規模である。

又昭和五二年度には、瀬戸内海地域漁業対策事業のひとつとして二階建の漁具倉庫（一部のり網冷蔵庫）が建設され、漁業施設の整備も着々と進んできた。

橋本組合長は意欲的に「港は大きくなっていくが漁業施設の整備はまだまだ。これからは円滑な流通を考えた関連施設の整備が先決だ」といわれる。

▽△



投入前のジャンボ魚礁（江井島）

港は漁船でギッシリ

本年八月一六日付の神戸新聞掲載の「兵庫の津々浦々」の一文を借りると次のように記されている。

「現在の登録漁船（一トン以上）は一一六隻、加えて登録不要の一トン未満が一四五隻、総数二六一隻が利用する。「港としてはもうパンクしている」（橋本三次組合長）。三トン級から五トン級へ、漁船は年ごとに大型化、ノリ養殖による水揚額の安定もあって漁船数は一〇年前の三倍にもハネ上り、最近の不況でサラリーマンからのUターン組もあってその傾向に拍車をかけている。ひしめき合う漁船群、その対策として五四年三月完成を目指し拡張工事中。すでに西側防波堤を大きく囲むように新堤防ができている。」と。

昔は東播随一といわれた港だけに今後も整備が望まれるが、漁師にとって港は我が家同然のものであり、港内の緩和・安全泊地としての今後の対策を期待したい。

アフリカ「ソマリア」国の水産事情

川越　敬一

昨年暮、福井水産課長あてにアフリカのソマリア国水産顧問として駐在の川越氏より一通の手紙がとどいた。同氏は、兵庫県水試の指導調査課長から富山県水産課長として転出、昭和四六年から六年間南米の水産国ペルーの顧問として水産庁から派遣、昨秋同国の顧問として再び渡航されたもので日本では殆ど知られていないソマリアの珍らしい水産事情を紹介してきた。

ソマリアは印度洋に面するアフリカの新興国で、アフリカ大陸では直線目離では日本に一番近い国であるが、政治・経済的にも日本から遠い国です。

ソマリアが日本の新聞に載ったのは、五二年秋ハイジャックされたルフトハンザ機に対し、西独特別警察軍が首府のモガディシオ空港に電撃作戦を敢行、人質を救出した事件と、西隣りのエチオピアとの戦争ぐらいでありましょう。

ソマリアは「アフリカの角」に位置し、インド洋と紅海に沿う海岸線三千粁に及ぶ国ですが、水産業の発達は極めて低位にあります。大陸棚が狭い、海岸線が単調で良港がない等の原因もあるが、水産業の発達しない最大の原因は、国民（九〇％がソマリ族、その他はパキスタンとアラブ系）が典型的な畜産食民族だからです。元来この国はアラビア半島への畜産物の供給地であったが、旧宗主国イタリアにより甘庶とバナナ農業が起り、最近になってソ連が水産業振興の援助をし、紅海沿岸に基地を置いた両国合弁のソマル水産会社が創立され、トロールと旋網により、冷凍魚、缶詰及び魚粉を合せて昭和五二年に約八千トン（容積トン）が生産されるようになったが、ソ連がソマリア・エチオピヤ戦争で同年秋に国交断絶、ソ連漁船の引揚げによって開店休業となりました。

そのほかの漁業は純然たる沿岸漁業で、二、三トンのFRPボートにヤンマー、ボルボなど七、八馬力のディーゼルをつけた日帰り漁業で、沖の潮がさしてくればキワダ、カツオ、ヨコシマサワラなどの浮魚を、沖の潮が悪ければ、イセエビ、マダイ、ヒラアジ、大カマスなどサンゴ礁の魚を獲ります。

私たちは日本の国際協力事業団から派遣された三名から成るジャパニーズミッションです。私が水産政策の技術的助言を担当しリーダーを兼ね、ヤンマーディーゼルの機械技師がエンジンの修理補修の指導、宮城県石巻出身の船頭が漁撈技術指導という分担です。この他に、製氷冷蔵の技術者が一人ほしいと思っています。

さきにも述べたように、ソマリ人は肉類を常食とし魚類は塩乾魚を煮出して、米料理用のソースを出るといった調味料的な食べ方しかしません。

首府モガディシオは人口三五万ですが、鮮魚が二トン市場に入ると満パイになってしまう有様です。日本ならこの十倍でも不足で、恐らく日本人の二〇分の一以下の消費水準と推定されます。しかし私は悲観しています。国民の生活水準が向上すれば、食品の多様を求めるのは当然ですし、他方、漁業技術が向上し、魚の鮮度をよくするならば、水産物の需要は急速に伸びるものと予想します。

当面の目標は、モガディシオ市の消費一日十トンとして開発計画をすすめたいと思っております。なお、当国の首府の名は、イタリア語でモガディシオ、英語でモガディシュ、現地のソマリ語ではモックディショと私の耳に聞えます。（ソマリ語を仮名書きするのは大変むつかしいのです。）

最後に、兵庫県水産課はじめ業界各位の御健勝をはるかにアフリカの一角からお祈り申し上げます。

（なお、ソマリアの風俗紹介として定評ある同氏の絶妙なタッチによる興味深い男・女青年像のスケッチが添付されているので参考までにご覧下さい。）

☆　☆

漁協一代（その九）

作花英治

もとより漁師の幹部に立つ人々も時代に即する自覚も遅く、およそ旧態依然たるものがあった。一つの例を挙げよう。

或る時共販所運営委員会を開くことになった。会議招集はその当日主事が筆者に口達させるわけであるが、午後二時委員会の開催を伝達しても、全員が揃うのは平均定刻より一時間半遅れるのが常であった。全員が揃っても雑談小一時間。主事が開会を宣し、問題が提出されるが、その討議が極めて前近代的で仲々はかどらない。大体が余談が多く、本論に入ったと思えばわき道にそれ、しかも同時発言が厖々で喧噪おびただしい。はては個人攻撃が始まる。噛み合いこそないがまるで烏合の衆に等しい。主事は黙然とそれを眺めて時機を待っている。いつの間にやら結論らしいものが出て次の問題に移る又同じような過程が繰り返へされる。やっと予定された議題の審議が了る頃は、日はとっぷりと暮れている。酒の用意が命じられる。会議室が階上にあり会議机もチャンとあるのに妙に階下事務室に隣するいろりを切った休憩室が開会を宣し、問題が提出されるが、その討議が極めて前近代的で仲々はかどらない。大体が余談が多く、本論に入ったと思えばわき道にそれ、しかも同時発言が厖々で喧噪おびただしい。はては個人攻撃が始まる。噛み合いこそないがまるで烏合の衆に等しい。主事は黙然とそれを眺めて時機を焚きながら情けなさが身にみる。十時近く潮の引く如く人の去った座敷の中の散乱した皿小鉢をパラパラと涙をこぼしたものであった。食器を洗いながら思わず一枚の皿を土間にたたきつけ微塵にくだける様を眺めてひとりいろりをかこんでの車座会議が多かった。酒が入ると皆又威勢が良くなって、会議の際自説を容れられなかった者が、不服を並べはじめる。それの反論があり、いやもうそのかまびすしいこと傍観していて只呆れるばかりである。連中に供する飯そかに溜飲を下げたこともあった。

おかしなことに会議のたびに、この前の決定はああだったこうでなかったと既決事項が各員まちまちに受取られていて一事不再理の原則などどこへやら前回決定事項をむし返すことも一再ならずあった。つまり会議録が取られておらず、主事がせめて手帖にでも要点をメモして置けばその煩はも無かったと思うのに、それがされていなかった。

そうこうしている中に昭和五年も暮れた。しかしその頃漁師は歳末もなければ正月もなかった。

元旦を海上でむかへるのが殆のしきたりであった。だから昭和六年の一月一日も平日と変らず午前四時起きをして出勤した。そうして元日らしく雑煮を祝ったのは夕食時であった。二日も三日も船は帰って来る。やっと正月らしく休めるのが雪の到来による時化で帰港船は各家で、出漁船は隠岐国西郷港に避難してそれぞれの船宿で、船員揃っての正月の酒宴を開くのが例であった。さすがに一度時化ると三～四日は市場業務は無く、出勤しても用事が無いので自宅休養が許され、帰港良なしと判断されながら、豊隠の実家に行って映画を見て一泊して帰ったものであった。一月十日頃ようやく海が凪いで来ると地元で待機していた船は一斉に出港する。西郷港に避泊していた船が帰ってくる。漁獲の少い船は、帰港船に魚を積んでもらって少しでも金にしょうと努力した。当時他船の魚を積んだ場合の販売代金の二〇％ときめられていた。とこうする中小正月を翌日に控えた一月十四日筆者は思いもかけない水産試験場主催の長期講習派遣の命令を受けたのであった。

八十八料記

◉後につづくもの

日脚がのびてくると、なにがなしなにものかに解放された感じがする。

暖冬であった今年でも春待つ心はかくしおおせない。

はーるよこい
はーやくこい
はずむ幼児の歌がのびのび華やぐ。

○

ぼくは日頃一三人の職員にテキパキした勤務常態を要求し、機に臨んでそれを口にしている。

ぼくは諸君にケジメのある行動を望むのは、もし職員に欠員ができて雇傭する場合「勤務時間もハッキリしないダラダラしたところはいやだ」と、うとんじられるよう、「漁協なら身を託してゆける我が城」とその青年も保護者も心安んじてくるような魂力ある組織にしたい為で、人はパンのみにて働くものにあらず

ということを理解し、ハタ目からも気持のよい風規ある企業にしてくれ。

はずむ幼児の歌がのびのび華やぐ。

○

ぼくは日頃一三人の職員にテキパキした勤務常態を要求し、機に臨んでそれを口にしている。

ぼくは諸君にケジメのある行動を望むのは、もし職員に欠員ができて雇傭する場合「勤務時間もハッキリしないダラダラしたところはいやだ」と、うとんじられるよう、「漁協なら身を託してゆける我が城」とその青年も保護者も心安んじてくるような魂力ある組織にしたい為で、人はパンのみにて働くものにあらず

ということを理解し、ハタ目からも気持のよい風規ある企業にしてくれ。

と職員に協力を求め、納得をえている。

○

現在漁協の平均年令は、非常に高いといわれるが、そのこと事態必ずしも肩身のせまいことではないにしろ、若者の補充が充分でないことは一考を要することだ。

○

偉そうに言ったところで、ぼくらも後十余年れすれば老兵として去る運命にあるが、今のぼくらはビジネスに精励する義務は勿論、それ以上（？）に後継者を養成し、常にフレッシュな漁協を形成してゆく責任もある。

でなければ、ヒシナビて溜り水のような前進のない漁協になるだろう。

○

ぼくの事務所の机には、八重の紅梅と水仙が、雪中君子のえもいえぬ香気をただよわせているが。

○

智恵あるものは智恵を出せ
力あるものは力を出せ
智恵も力もなきものは、たゞ静かに去れ。

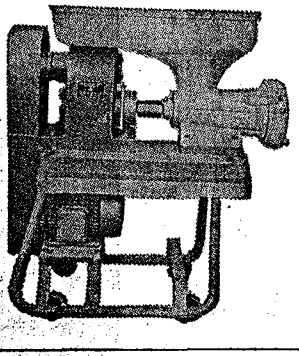
○

と、そんな言の葉が、ふいくと身に染むようだ。

ゆらぎよれん山上

☆

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパー№32から№72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通5番5号　TEL 代表神戸(078) 921-1527

一滴の燃料を生かす確かな技術
余裕の出力、曳き力抜群！

船用主機ヤンマーディーゼル
〈内海底曳用〉
3EH15
（定格15馬力／1440回転）

●船舶主機用3.0～2400馬力●
●船舶補機用3.5～3600馬力●

ヤンマーディーゼル

●詳しいカタログをお送りします（本社宣伝部）まで。

ヤンマーディーゼル株式会社